

編集

三好市役所総務部秘書広報課

〒778-8501

徳島県三好市池田町シンマチ

1500番地2

☎0883-72-7646

koho@city.tokushima-miyoshi.lg.jp

http://www.city-miyoshi.jp/



QRコードからアクセス

□ 編集後記

今月のふるさと探訪は真鈴峠。参考にさせていただいたのは、三好郷土史研究会出版の「三好の古道」。三好郡市の古道の魅力が詰まった一冊で第37回とくしま出版文化賞に選ばれています。初めていく場所で不安になりながらも車を進めていきましたが、説明看板を見つけひと安心。本に紹介されている馬供養の地蔵にたどり着いたときは、「やった、あった、発見!」と感激。市に眠る貴重な歴史の一端と古道の魅力に触れることができました。(近)

今年の四国酒まつりもうだつマルシェなどと同時開催され、約2万人が訪れ大盛況の内に幕を閉じました。またこの日は市内3つの酒蔵も解放され、普段はなかなか見ることができない創業当時の佇まいを今も残す蔵の内部や酒造りの工程を見学することができ、大変貴重な体験をすることができました。年々ファンを増やし続けているその裏には地元を盛り上げようとする地域の方々の熱い思い。お酒の香りとともに地域の情熱を体感した1日でした。(川)

# 三好市探訪



## ま すす 真鈴峠

### — 三好市三野町太刀野山 —

三野町太刀野山と香川県仲多度郡まんのう町との県境にある標高約640mの真鈴峠は、古くは人馬交通の要路で知られ、讃岐山脈の三大峠に次ぐ難所と言われていました。現在は、県道108号勝浦三野線から明神橋を過ぎ、藤黒谷橋を渡り直進した約4.7km先にあり、近くには説明板があります。

説明板によると「讃岐米どこ、阿波牛どころ、牛が讃岐に米かせぎと歌われた借耕牛はこの峠を往来した。水の便が悪く畑が多い阿波の山村農家では、田植えの季節になると、平地で水田が主体の讃岐へ耕作用の牛を連れていく。田植えがすむと牛は背中に米、塩、干魚などを乗せて里帰りしてくるが、酷使されるので、やせ衰えたその姿は誠に痛々しい限りだったという。牛のこの出稼ぎはまた米牛とも呼ばれ、昭和12、3年ころまで続いた」と書かれています。看板から左に50mほど進んだところには、大きな2本の松の下に馬供養の地蔵が祀られており、当時の様子をうかがい知ることができます。